

アプローチ」と題して、また一般社団法人総合デザイナー協会理事の武澤 恵理子先生に「デザイン業界から学ぶ五感を活用した患者管理」についてご講演いただきました。

教育講演として、ANAビジネスソリューション営業本部の大阪副支店長 佐野川谷 有加子先生に「チームで支えるおもてなしの心」と題してご講演いただき、どの講演も大変盛況でした。

他に、4会場にわかれて、口演53題、ポスター29題の発表があり、いずれも充実した内容で、各施設の取組について活発な意見交換をしていただきました。

皆様のご協力により、盛会裏に学術集会を開催できましたことに感謝して開催報告といたします。

### 第18回岡山県支部学術集会

学術集会会長：川崎医科大学附属病院院長 園尾博司

2017年2月18日(土)に川崎医科大学現代医学教育博物館を会場として、日本医療マネジメント学会第18回岡山県支部学術集会を開催いたしました。今回は、メインテーマを「災害から学ぼう～医療と暮らしの連携～」としまして、県内外から248名の参加をいただきました。

特別講演では、災害医療・看護に造詣の深い、東邦大学看護学部 近藤麻理教授による「被災するという体験」と題したご講演をいただき、その後、「災害における医療と暮らしの連携」をテーマにシンポジウムを行い、岡山県看護協会、倉敷市消防局、岡山県医療推進課、川崎医大DMATの4名の方からの発表、討論をいただきました。また、ランチョンセミナーでは、倉敷スイートホスピタル 江澤和彦理事長による「地域包括ケアの深化・推進と地域共生社会の実現へ向けてー地域医療構想と地域包括ケアは相補的かつ密接不可分ー」と題した地域包括ケアシステムについてのご講演をいただきました。さらに、一般演題・要望演題「医療と暮らしの連携」13題、ポスター発表8題、クリティカルパス展示1題と多くの発表をいただき、盛会に終了いたしました。

最後になりましたが、本学術集会開催にあたりご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

### 第17回長崎支部学術集会

学術集会会長：長崎みなとメディカルセンター市民病院  
院長補佐 鬼塚伸也

2017年2月18日(土)、長崎県美術館において、日本医療マネジメント学会第17回長崎支部学術集会を開催しました。今回のテーマは「危機管理へのあくなき



会場風景

挑戦～出島から発信しよう極上の医療」とし、41題の一般演題(口演)、12題のポスター発表が行われ、当日は県内全域から200名の参加をいただきました。

特別講演は2題設け、危機管理の面から『熊本地震：被災後の対応と課題』として、熊本市市民病院院長の高田 明先生にご講演を賜り、あくなき挑戦という面から、『長崎ランタンフェスティバルの成り立ちと将来』として、長崎ランタンフェスティバルを全国から100万人を集めるイベントに育てられた、株式会社社会楽園会長の林 敏幸先生にご講演していただきました。また、『熊本地震における各病院の取り組み』をテーマとしたシンポジウムも行い、3病院の取り組みに関する発表を通して、県内の災害時対応の実際と課題を参加している各病院のスタッフが共有することができました。

最後に本学術集会が盛会のうちに終了できましたことを、ご協力いただきました関係各位に深く感謝申し上げます。

### 第17回大分県支部学術集会

学術集会会長：臼杵市医師会立コスモス病院院長  
下田勝広

2017年2月18日(土)、臼杵市中央公民館にて、「笑顔で協働～人材・チームの育成～」をテーマに第17回大分県支部学術集会を開催いたしました。

特別講演はスポーツドクターとして活躍中の八王子スポーツ整形外科診療部長の白石 稔先生より日常の診療とは全く異なるプロサッカー界でのチーム医療のご講演、また、ランチョンセミナーでは名古屋第二赤十字病院の石川 清院長より人材育成におけるコーチングの重要性をお話いただきました。シンポジウムでは診療所・クリニック勤務の看護師でネットワークを作り看護力を高める取り組み、リハビリテーション部内で独自の人事考課で人材を育てる仕組み作り、歯科衛生士の地域包括ケアにおける役割など多職種の素晴らしい取り組みが発表され、熱い討議も行われました。

174名の参加の下に、一般口演15、ポスター24、クリティカルパス3と演題も多く盛会のうちに終了いたしました。学術集会開催にあたりご支援、ご協力いただいた皆様には心から感謝申し上げます。